

## 成果指標設定調書

## 【成果指標の設定】

成果指標設定年度

30

年度

市町村名	加須市			
提案事業名	広域避難を重点にした防災啓発事業			
事業期間	30	年度	～ 30 年度	
事業の必要性、目的	加須市はカスリーン台風での被害から71年を経て地域防災力の重要性、広域避難に力点を置いている。新たな想定浸水深等に基づく水害時の避難行動計画（マップ）を策定することにより、市民の防災意識を高め、安心安全なまちづくりを推進していく。特に平成27年の関東・東北豪雨の教訓も踏まえ、洪水等の災害に際し広域避難の対応への準備も民間企業と協定を結ぶなど対策を講じているところである。災害の被害を0（ゼロ）に抑えるため講演会、出前講座等の実施も併せ市民への周知に努めていく必要がある。			
成果指標	（成果を検証する指標） 講演会等の参加者数			
	（成果検証の具体的な方法） 防災啓発に係る講演会や説明会等に参加した人数を把握する。			
	（上記の指標を設定した理由） 啓発のために開催した防災関連事業や自発的な地区防災組織からの要望での講座等の参加者数が増えることが、意識啓発や防災情報の周知に効果的につながっていくため。			
	（成果の目標値）			
	現状値 (H30年3月現在)	1,423	目標値 (H31年3月時点)	3,000
	（施設建設等の場合）			
	年間利用者数(目標) (人)		稼働率(目標) (%)	
住民への公表方法及び特記事項	市報及びホームページへの掲載			

## 【成果指標と構成事業の関連性】

平成30年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 水害時の避難行動計画(マップ)策定事業	ソフト 71年前のカスリーン台風や関東・東北豪雨での被害を踏まえた新たな広域避難の意識を市民に啓発するために避難行動計画(マップ)を策定することで、災害の被害0(ゼロ)を目指す。	10,000
② 水害時広域避難啓発事業	ソフト 防災に関する今までの常識を広域避難という意識に変えていくため、講演会等の開催により、市民の防災意識の高揚、地域防災力の向上を図り、より多くの市民に参加していただき防災に対する意識啓発を推進していく。	807
③	ハード ソフト 間接補	
④	ハード ソフト 間接補	
⑤	ハード ソフト 間接補	
⑥	ハード ソフト 間接補	
合計		10,807

## 【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	今年度については、講演会等での啓発を行うとともに水害時の避難行動計画(マップ)の作製を行い、平成31年度以降これらを用いて今までとは異なる広域避難の周知を図り、地域防災力の強化を図るために、多くの方が参加していただけるよう広報、SNSを活用した周知に努める。
成果指標の達成見込み	地域防災力の強化は、近年発生している災害の被害状況からも必須と考えられているため、水害時の避難行動計画(マップ)を意識啓発のツールとして活用できるよい機会と考えられる。

(記入上の注意)

**【成果指標の設定】**

・住民への公表方法は具体的に記述すること

**【成果指標と構成事業の関連性】**

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業  
に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、  
事業費の下に( )書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。